（2）充実感の得られる活動の場づくり

①　個を生かす学習活動の充実

何のために学習するのかについて，子どもの発達段階に応じた講話や話し合いを通して考えさせます。子どもが，学習課題や活動を選択したり，自らの生き方や将来について考えたりする機会をもうけるなど，夢や目的意識を育てることが大切です。

学級活動・総合的な学習の時間・選択学習・キャリア教育・進路指導

子ども自らの問題意識を尊重し，共同の学びの場を設定し，力を合わせて課題を解決したことを実感させます。肯定的な評価を行い，学習に関する成就感を味わう，といった学習指導を展開します。

班学習・協同学習・形成的評価等

自らの学習課題に関する学習を興味深く展開するためにも，基礎的・基本的な内容の理解を重視して，繰り返し学習やドリル学習など工夫した取り組みをします。

グループ指導・繰り返し指導・教職員の協力的な指導

各教科等の指導において，一人一人の子どもの理解の状況や習熟の程度に応じる配慮によって，わかる授業を徹底します。

個別指導・習熟度別指導等

体験的・問題解決的な学習を通して，自分で課題を見つけ，よりよく解決できる資質や能力を育て，自分のよさを発見し自信を深めることができるよう，創意を生かした学習指導を展開します。

問題解決的な学習・ソーシャルスキルトレーニング・構成的グループエンカウンター等

補充的な学習などを取り入れて，わかる授業を徹底します。体験的な活動や課題別，興味･関心別の指導，肯定的な評価などを行うことにより，すべての子どもが楽しく，自ら学ぶ意欲を育んでいくようにします。

補充指導・体験的な活動・課題解決学習・形成的評価等

学業不振に関しては，学習習慣・学ぶ意欲の形成に課題がある場合や，学習方法・基礎的な内容の理解に問題がある場合，生活のリズムの乱れ・教職員との人間関係が影響している場合などが考えられます。そのため，学習内容の理解の把握や学習相談を実施して，改善すべきところを明らかにし，効果的な指導・助言を行います。

子ども理解・学習相談等

② 安心して活動できる場の保障

〔自己の個性を発揮できる学級づくり〕

学級担任は，委員・係・班活動などの構成や交友関係にきめ細かな配慮を行い，意図的・計画的に子どもが心理的に安定して帰属することのできる学級づくりを進めます。

〔いじめや暴力行為を許さない学級づくり〕

学級の秩序を確立するための取り組み，好ましい人間関係に支えられた活動への配慮，いじめや暴力行為を絶対許さない学級づくりなどによって，安心して通える学校にします。

〔自発的・自治的な活動の尊重〕

子ども自らが学ぶ意欲を高め，主体的に学ぶ力を身につけることをめざし，子ども一人一人の自発的・自治的な活動を尊重し，育てるために指導を工夫します。

〔教育相談の充実〕

教科等の授業，学年や学級での諸活動など，子どもと接するあらゆる機会において，すべての教職員が一人一人の子どもをかけがえのない存在として全人的に受け止め，共感的な理解に基づき，教育相談の充実を図ります。

〔学級活動，児童会・生徒会活動，学校行事等の特別活動の充実〕

子どもが学校生活の基盤となる人間関係を形成し，また，学校における居場所づくりができるよう，特別活動の充実を図ります。